

経営相談 Q & A

アイデアをたくさん出すための方法や会議のやり方

Q

当社は従業員約 30 名の中小製造業です。
新商品開発や業務改善についての会議をよく行うのですが、アイデアがなかなか出てこなくて困っています。アイデア出しを活発に行うための方法や会議のやり方について教えてください。

A

アイデアをたくさん出すための方法や会議のやり方を、以下にくつかが紹介します。

1. ブレインストーミング

(1) ブレインストーミングとは

ブレインストーミングとは、米国の広告会社副社長だったアレックス・F・オズボーンが 1940 年ごろに考案したアイデア発想法です。アイデア出しの会議の方法としては最も有名なものの一つです。

頭の中の固定観念を取り払い、自由な発想で集団で沢山のアイデアを生産し、連鎖反応や発想の飛躍を誘発して問題の解決に結びつけます。

(2) ブレインストーミングの 4 原則

ブレインストーミングを行う上で最も重要なルールが以下の 4 原則です。

①他人の意見を否定しない

会議中は、出てきたアイデアに対する批判的な発言や意見を一切排除する。

②自由奔放なアイデアを歓迎する

アイデアは滑稽なもの、奇抜なもの、ユニークなものほどよい。

③質より量を重視する

アイデアの数が多いほど素晴らしい連想が起こる可能性がある。思いつきでいいのでとにかく量を重視する。

④他人のアイデアに便乗する

他人のアイデアからの着想、組み合わせで連鎖反応を起こす。

(3) 具体的なやり方

人数に制限はないが、活発な議論をするためには 5~7 名程度、多くとも 10 名以内が望ましい。

<手順>

- ①まず進行役と書記を決め、メンバーから出てきたアイデアをどんどんホワイトボードや模造紙に書き出す。
- ②進行役は、全員が発言できるように、また前述の 4 原則が守られるように適宜配慮して会議を進行する。
- ③出てきたアイデアは、記入後のホワイトボードをデジカメで撮影したりして必ず保存しておく。
- ④終了後に、会議で列挙された情報を整理する。複数の意見の共通点を考えたり、異なる意見を結び付けたりすることによる意外な発見から、新たなアイデアの創出につなげる。

2. ブレインライティング

(1) ブレインライティングとは

ブレインストーミングではメンバーが直接話し合いますが、引っ込み思案な人がアイデアを述べにくかったり、会議に時間がかかるといった問題点があります。

そこで、話す代わりに書いてアイデアを出し合うブレインライティングという手法もあります。

(2) 具体的なやり方

人数は 4~6 名程度が適当。

<手順>

- ①3×6のマス目を印刷した「ブレインライティングシート」を全員に1枚ずつ配り、テーマに関するアイデアを1行目に3つ書く。
- ②5分ごとに紙を右隣の人に回し、前の人が書いたアイデアを読んで、それを発展させるように新たなアイデアを3つ、次の行に書く。
- ③以上を6回（合計30分）繰り返すと、全員のシートの全マスが埋まり、アイデアが3×6×人数分集まる。
- ④それらを全員で検討し、使えるようなアイデアをさらに膨らませていく。

3. オズボーンのチェックリスト

アイデアがなかなか浮かばない時の発想の切り口として便利なのが、オズボーンのチェックリストです。普段の固定観念を壊し、角度を変えた発想の飛躍を行うきっかけとして役に立ちますので、下表を参考にしてください。

4. まとめ

ブレインストーミングやブレインライティング

は、意思決定や意見調整など答えを1つに絞る議論には不向きですが、商品開発や業務改善などたくさん案を出す必要のあるテーマには効果的です。

自由奔放な意見交換を通じて職場のコミュニケーションの活性化や結束力の強化にもつながりますので、ぜひ一度お試しください。（吉村謙一）

ブレインライティングシートの例

テーマ:			
	A	B	C
1	ここに3つアイデアを書く		
2	発展形のアイデアをどんどん書いていく		
3	↓		
4			
5			
6			

オズボーンのチェックリスト

項目	例
①他に使い道は？ (Put to other uses)	新しい使い道はないか？ 他分野へ適用できないか？ 改造したらどんな用途があるか？
②応用したら？ (Adapt)	他に似たものはないか？ 過去に似たものはないか？ 何かのまねをできないか？ 誰かを見習えないか？
③変更したら？ (Modify)	意味、色、動き、音、匂い、様式、形などを変えられないか？ 新しいひねりを加えることはできないか？
④拡大したら？ (Magnify)	より大きく、強く、高く、長く、厚くできないか？ 頻度は？ 付加価値は？ 誇張は？ 複製はできないか？
⑤縮小したら？ (Minify)	より小さく、弱く、低く、短く、薄くできないか？ 省略、分割、減少、濃縮はできないか？
⑥代用したら？ (Substitute)	他の人を、物を、材料を、素材を、製法を、場所を、動力を、アプローチを、構成要素を使えないか？
⑦アレンジし直したら？ (Rearrange)	要素を取り替えたら？ 他のパターン、配置、順序は？ 原因と結果を入れ替えたなら？ スケジュールを変えたら？
⑧逆にしたら？ (Reverse)	逆にできないか？ 後ろ向きにしたら？ 上下左右を逆にしたら？ 役割を逆にしたら？ マイナスをプラスにしたら？
⑨組み合わせたら？ (Combine)	ブレンドできないか？ 目的を組み合わせたら？ アイデアを組み合わせたら？ ユニットを組み合わせたら？